クビアカツヤカミキリ防除対策にご協力ください

クビアカツヤカミキリとは

サクラやウメ、モモの木を枯らす特定外来生物



・東アジア原産の昆虫で、幼虫が木の内部を食い荒らして枯死させ、桜並木などでは落枝や倒木による事故を発生させる恐れがあります。
・幼虫は木の内部で５月から10月末頃まで活動し、翌年５月頃に成虫となり、木から脱出して活動範囲を拡げ、繁殖します。
・被害の拡大を抑えるためには、幼虫の段階で被害木を特定し、防除対策を行うことが必要です。

岐阜県での侵入状況

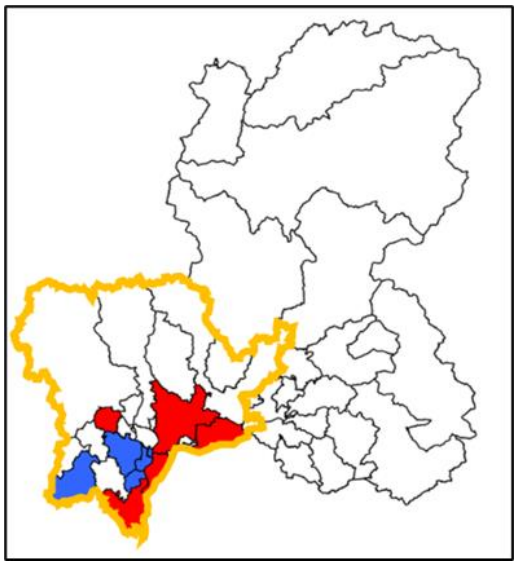
岐阜県では、岐阜地域、西濃地域、揖斐地域で侵入が確認されています。下記の市町村はクビアカツヤカミキリ被害木がある可能性が高い地域です。

＜調査重点地域＞

赤色：成虫または幼虫発見地域
（海津市、各務原市、羽島市、池田町、岐阜市）

青色：フラス確認地域
（海津市、各務原市、羽島市、輪之内町、岐阜市、安八町、大垣市）

黄色：被害を受けた市町村が近隣にある地域
（関市、美濃市、山県市、瑞穂市、本巣市、岐南町、笠松町、養老町、垂井町、関ケ原町、神戸町、揖斐川町、大野町、北方町、坂祝町）



みなさまにお願いしたいこと

①所有施設内の対象樹木に被害がないか確認してください。
②被害のある樹木を発見した場合、多治見市（環境課）まで報告をお願いします。

被害木の調査方法の詳細は裏面を確認ください ▶▶

被害木の調査方法

被害の見つけ方＝フラスを探してください

フラスとは、幼虫が木の内部を食い荒らし、排出した木くずとフンが混ざったもの。幼虫は木の内部で成長する過程で大量のフラスを排出します。

＜特徴＞
・うどん状やかりんとう状につながった木くず。
・木くずとおが粉状のものが堆積しているもの。
・幼虫が活動する５月から10月に多く見つかる。
・主に樹木の根元や幹から排出される。


サクラの木から出ているフラス


ウメの木から出ているフラス

調査対象樹種（特に注意してほしい種）

サクラ



ウメ



モモ



スモモ



お問い合わせ先

被害木を発見した場合 →

多治見市環境課に報告
・様式により報告してください
Tel：0572-22-1175
kankyo@city.tajimi.lg.jp

判断に迷う場合
例・フラスなのか、樹皮なのかわからない
・調査対象種ではない種にフラスがある →

東濃県事務所環境課に連絡
Tel：0572-23-1111
c20507@pref.gifu.lg.jp

クビアカツヤカミキリによる被害を食い止めるため、みなさまのご協力をお願いします。